



在宅で“食べる”を支える力

— 多食種連携がつくるこれからの訪問医療 —

2026.5.10 (日) 9:30~13:30

開催場所 | 朝日大学 6号館 6201 (岐阜県瑞穂市穂積1851)

参加費 2,000円 学生無料

現地
開催

プログラム

第1部 特別講演 9:30~11:05

『食支援は究極の多職種連携 ~亡くなるまで食べるためには~』

医療法人ゆうの森

理事長 永井 康徳 先生

2000年、愛媛県松山市で、四国で初めて在宅医療専門の「たんぼぼクリニック」を開業し、現在は、職員100人の多職種チームによる連携を実践。廃止予定であった公立へき地診療所を民営化し、第1回日本サービス大賞 地方創生大臣賞を受賞。「全国在宅医療テスト」や「今すぐ役立つ在宅医療未来道場」などを通じて、在宅医療の普及に積極的に取り組んでいる。



第2部 リアルセッション 11:30~13:30

『“食べる”をつなぐ多職種連携 ~切れ目のない食支援~』

前半は、急性期・施設・在宅それぞれの立場から、各職種が「何を見るか/何が困るか/次につなぐ情報」を共有します。後半は困りごとをもとに、在宅で“食べる”を続ける具体策と連携のコツを議論します。明日から使える“連携の型”を持ち帰りましょう。

登壇者：河合 悟先生 (歯科医師)、茨木 あづさ先生 (Ns)、浅井 ひの先生 (管理栄養士)
小久保 晃先生 (PT)、須貝 里幸先生 (OT)、北川 敬太先生 (ST)

*一部登壇者変更となる可能性あり

*QRコードよりお申込みください。

✉ asahienge@gmail.com

☎ 058-213-0321 (担当: 蛭牟田)

f <https://www.facebook.com/gifushokuren/>

チケット購入

